



「練馬こぶしハーフマラソン 2018」を開催

～5,000人のランナーが練馬路を疾走！～

とき 3月25日(日)

ところ スタート・ゴール：都立光が丘公園(光が丘4-1-1)

25日、練馬こぶしハーフマラソン2018が開催され、約5,000人のランナーが早春の練馬路を疾走した。

午前8時、実行委員会会長の前川耀男(まえかわあきお)練馬区長の号砲のもと、都立光が丘公園を一齐にスタート。ランナーは思い思いのペースで21.0975kmを駆け抜けた。

今年から正式種目となった「マイルラン」では、1.6kmを楽しくランニングする小学生の親子や、記録を目指し全力疾走する中学生の姿も見られた。

最速タイム1時間10分49秒を記録し、総合男子第1位に輝いた坪井響己さんは、「沿道の応援のおかげで、いい記録が出せました。優勝できてうれしいです。」

と話してくれた。また、1時間22分36秒で総合女子第1位の窪田怜子さんは、「優勝できてうれしいです。沿道の応援がすごくて、楽しく気持ちよく走ることができました。また来年も出場して頑張ります。」と話してくれた。



満開の桜のトンネルの中を疾走

【大会の様子】

日本全国から参加したランナーたちが、笹目通り、目白通り、環八通り、川越街道の幹線道路のほか、練馬区が誇る遊園地「としまえん」内を走るコースなど、バリエーションに富んだコースを楽しんだ。

大会には、谷川真理さん、神野大地さん、練馬区在住の吉田香織さんがゲストランナーとして参加。箱根駅伝で「山の神」として活躍、現在コニカミノルタに所属の神野大地さんは、沿道の声援に答えて日本トップクラスの走りを披露した。

【ランナーも来場者も練馬の魅力を満喫】

会場に設けられたイベントブース「よりどりみどり練馬ストリート」には、40近くの団体が出展。大勢の来場者が、大型ビジョンでマラソン中継を観戦したり、ゲストランナーのほか、オリンピックメダリストの浜口京子さんや、練馬区出身でリオデジャネイロパラリンピック卓球代表の岩淵幸洋選手によるスペシャルトークショーや飲食エリアなどを楽しんだ。また、レース終了後、練馬産大根を使用したすずしろ汁が振る舞われ、ランナーたちはレースで疲れた体を癒していた。



笑顔でフィニッシュ(親子マイルラン)



すずしろ汁に舌鼓

【大会結果】

男子総合1位 坪井 響己(つばい ひびき)(1時間10分49秒)

女子総合1位 窪田 怜子(くぼた れいこ)(1時間22分36秒)

【大会公式ホームページ】<http://www.nerima-halfmarathon.jp/>

【問い合わせ】練馬区 シティマラソン担当課 シティマラソン担当係 電話03-5984-3555